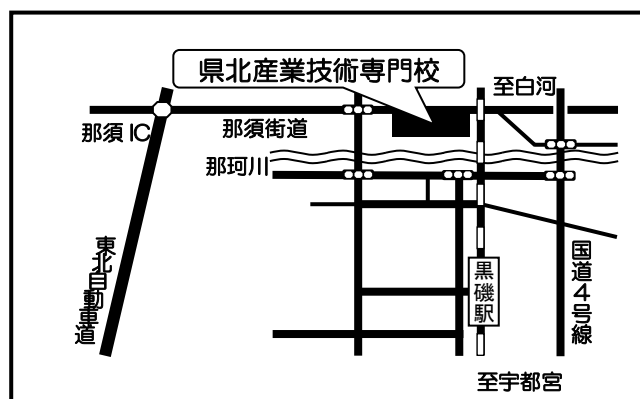


介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科 (12月コース)(託児付)

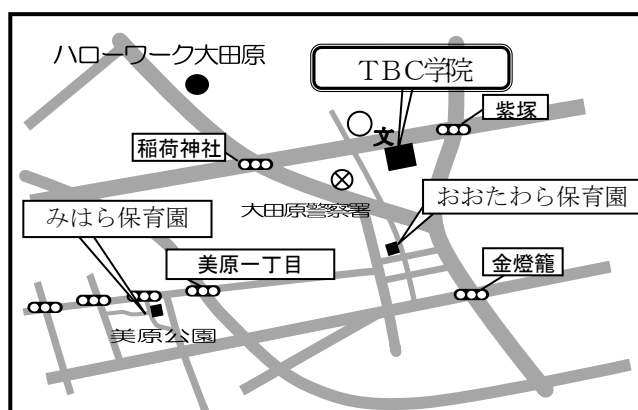
栃木県立県北産業技術専門校では、公共職業安定所(ハローワーク)に求職登録されている方を対象に再就職を促進するために職業訓練を実施いたします。

- 1 訓練対象者 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方
(託児サービスを希望の方は、別紙「託児サービスについて」を確認し、入校願書・履歴書と共に「職業訓練受講期間中に係る託児サービス利用申込書」を提出して下さい。)
- 2 定員 15名
- 3 訓練期間 4か月 座学3か月+職場実習1か月
令和元年12月2日(月)から令和2年3月30日(月)まで
訓練時間 午前9時30分から午後4時30分まで 6時間
休日 土・日・祝日及び校長が定める日(実習中はこの限りではありません。)
*訓練時間については変更する場合があります。
- 4 訓練実施場所 株式会社TBC福祉教育センター大田原教室
所在地:大田原市紫塚2-2609-2(学校法人ティビィンシイ学院 国際自動車・ビューティ専門学校内)
- 5 訓練内容 裏面、「訓練カリキュラム」をご覧ください。
- 6 受講料他 受講料は無料です。但し講習用テキスト代(約10,000円)が必要です。
訓練生総合保険料(3,600円+振込手数料)・健康診断料(5,500円)
実技時使用備品(150円)救急法基礎講習(1,500円)実技服、補講料等に
係わる費用は受講者の負担となります。
- 7 募集期間 令和元年10月1日(火)から10月31日(木)まで
- 8 選考日時 令和元年11月15日(金)
選考は午前10時00分から 受付は午前9時30分から50分まで
- 9 選考場所 栃木県立県北産業技術専門校 所在地:那須郡那須町高久甲5226-24
- 10 選考方法 適性試験及び面接試験
- 11 その他

- ① 指定の入校願書及び履歴書に記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申し込んで下さい。
- ② 入校選考には、筆記用具、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者の方)を持参して下さい。
選考を辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③ 応募者が少ない場合等により訓練を中止する場合があります。予め御了承願います。
- ④ 入校までにジョブ・カードの交付を受けてください。



(入校選考場所) 栃木県立県北産業技術専門校
TEL:0287-64-4000



(訓練実施場所) 学校法人ティビィンシイ学院
国際自動車・ビューティ専門学校
(問い合わせ) TBC福祉教育センター
TEL:028-651-2171

委託訓練カリキュラム

訓練科名	訓練科名 (県北校) 介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科 (12月コース)	訓練対象者	離転職者	
訓練期間	令和元年12月～令和2年3月 (4か月)	訓練終了後に想定される就職先	老人福祉施設 老人保健施設 訪問介護事業所 障がい者施設 病院 通所介護 通所リハビリテーション こども通所サービス 福祉用具貸与事業所	
訓練目標	介護職員初任者研修と福祉用具専門相談員指定講習の学習を通して介護に関する正しい基礎知識を身につける。現場上司の指示を受けながら訪問介護及び施設介護の基本作業ができる広い視野を持った即戦力として、さらに福祉用具のスペシャリストとして介護業務関連への就職を目指す。			
訓練の内容	科 目	科 目 の 内 容	訓練時間	
	学 科	オリエンテーション	オリエンテーション・就職支援	6
		就職支援	基本的理念の理解、アイスブレイク、業界研究・ジョブカード・履歴書作成・就職講話・企業説明会・ビジネスマナー・仕事の現状と仕事理解・企業に関する情報収集・合格する応募書類の作り方・自分自身の分析(自己開示)	19
		職務の理解	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解	9
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	12
		介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全	12
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障がい者総合支援制度の理念 およびその他の制度	12
		老化の理解	老化に伴うところとからだの変化と日常・高齢者と健康	9
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	9
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	9
障害の理解		障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解	6	
ところとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	16		
振り返り	振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修	5		
修了評価	修了テスト	1		
実習の理解	実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等)	8		
福祉用具専門相談員指定講習	福祉用具専門相談員の役割、介護保険制度等に関する基礎知識、介護保険制度等に関する基礎知識、高齢者と介護・医療に関する基礎知識、個別の福祉用具に関する知識・技術、福祉用具に係るサービスの仕組みと利用者の支援に関する知識、福祉用具の利用の支援に関する総合演習、振り返り、修了評価	72		
訓練導入講習	介護職の現状の理解・企業が求める人材像	12		
実 技	ところとからだのしくみと生活支援技術	介護に関するところのしくみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	62	
	介護実習	施設サービス実習・訪問通所サービス実習	36	
	救急法基礎講習	傷病者の観察の仕方および一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動、軌道異物除去)等救急法の基礎	6	
	訓練導入講習	模擬実習体験	12	
	職場実習		108	
訓練時間総合計 441時間 (学科 217時間、実技 116時間、職場実習 108時間)				
機器設備	DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーパット、口腔模型、アイマスク、調理・食器用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			